



# 愛媛県立上浮穴高等学校

〒791-1206

愛媛県上浮穴郡久万高原町上野尻高 486 番地

TEL 0892-21-1205

FAX 0892-21-2050

昭和 15 年 愛媛県立上浮穴農林学校 設立認可される

昭和 23 年 愛媛県立上浮穴高等学校となる。

地域の期待に応えるため、高校生として、徳・知・体の調和のある人間づくりを目指すとともに、生徒一人一人をみつめ、その資質・個性に応じた教育を行うことを教育方針とし、豊かな人間性を育み、高い知性と自律性、たゆまぬ実践力をもつことを指導目標とする。

学級数：6 生徒数：145 普通科・森林環境科

## 休部になった VYS、ふたたび

3 年前は休部状態だった VYS を現在の 3 年生の熱意でよみがえらせた。現在、3 年生が 8 人、1 年生が 5 人在籍しているが、遠慮がちだった 2 年生は、意識の高い 3 年生の部長から仕事を引き継ぎつつあり、自発的に活動する生徒になった。

主な活動は、久万幼稚園訪問、御用木祭り、図書館での幼稚園児対象の読み聞かせ活動、募金、介護施設夏祭りの補助、軽トラ市での苗の販売、地域のクリスマス会等がある。

校内では、毎週金曜日、全校に呼びかけて校内トイレ掃除及びペットボトルキャップの回収をしている。

生徒自身が普段できない体験をすることで、主催する側の苦勞を実感し、感謝されることでやりがいを感じたようだ。また、地域の活性化にも微力ながら貢献した。



コスモス会



ささゆり荘訪問



生徒会では、地域行事のマラソン大会の炊き出し、交通茶屋の補助をする。

家庭クラブは、特別養護老人ホームのささゆり荘を年 4 回訪問し、年賀状や暑中見舞いのお便りを出している。久万保育園へは 5 月頃にプレゼントをつくり、訪問している。

農業クラブの活動は、軽トラ市での苗の販売、公共施設等緑化事業での花植え交流、介護施設へ訪問しランを配布、交通茶屋でも交通安全の呼びかけと苗木の配布をしている。

ボランティア活動はコミュニケーション能力を身に付けたり、視野を広げたりするので必要な活動だと思うが、自主的に参加する生徒は少ない。活動の幅を広げ、自主的に参加できる環境と行動できる生徒を育成したい。



# 愛媛県立小田高等学校

〒791-3502

愛媛県喜多郡内子町寺村 978 番地

TEL 0892-52-2042

FAX 0892-52-4020

昭和 23 年 開校 定時制課程（普通科・家庭科）

昭和 34 年 定時制課程の生徒募集停止 全日制課程に切り替え

地域社会と一体となって、校訓「友愛・誠実・努力」をもとに、社会の形成者としての自覚を持たせ、生徒一人ひとりの能力・適性・進路に応じた指導とその実現に努め、心身ともに健全でたくましく生きる人間の育成を期すことを教育方針とする。

学級数：6 生徒数 116 普通科

## 小田が好きと言う気持ちを育てたい

豊かな自然環境に恵まれ、日頃から地域とも繋がりが深い本校では、様々な活動を実施している。夏草が生い茂る 7 月には、毎年小田中学校と合同で地元にある「城の台公園」の草引きや遊具磨きなどの清掃活動を実施している。また夏季休業中には、生徒の各居住地域でボランティア清掃を行っている。

小田の地域からは、夏祭り（7月の灯籠まつり・8月の火祭り）の準備や運営、防災訓練の補助、また、老人ホームのイベントの手伝いや内子町主催の「せんの森プロジェクト」運営補助などの依頼があり、ボランティアスタッフとして積極的に参加している。

地域の幼稚園とは、小田川でのカジカ捕りやいかだ遊びのお手伝い、お祭り練り歩き（御輿を担いで町中を歩いて回る）の補助などを行い交流している。練り歩きの前には、園児と一緒に御輿を作ったり、伝統芸能の獅子舞を保存会の方に教えていただき園児と共に披露したりもする。また、本校の運動会や文化祭に園児を招待し、ダンスを踊ったり手作りのおもちゃで遊んだりして交流を深めている。



人口の減少が進む小田地区では、高校生の若い力はとても頼りにされており、温かく迎え入れられて活動ができています。相手に感謝されることで「参加してよかった。また何かしよう。」という気持ちが生まれ、相乗効果が生じています。生徒たちは課外指導や部活動で多忙な学校生活を送っているが、地域の方々に必要とされていると感じることで、自己有用感を持つことができている。また、異年齢の人たちと接することで、コミュニケーション能力が鍛えられている。このような活動を通して、生徒たちは自分たちが住んでいる地域を知り、地域で活動することで、地域に対する愛情が育っている。



# 愛媛県立伊予農業高等学校

〒799-3111

愛媛県伊予市下吾川 1433

TEL 089-982-1225

FAX 089-983-4177

大正 7 年 伊予郡立実業学校設立認可 大正 11 年 県立移管、愛媛県立伊予実業学校と改称

昭和 24 年 高校再編成により愛媛県立松山南高等学校伊予分校と改称

昭和 27 年 愛媛県立伊予農業高等学校として独立

徳・知・体の調和のとれた人格の完成をめざし、民主的な国家及び国際社会の有為な形成者となるにふさわしい人間力を培い、豊かな人間性や自ら学び自ら考えるなど生きる力を備えた心身ともに健全な生徒の育成を期することを教育方針とし、生きる力を育み、地域と一体となった農業教育を推進することを指導目標とする。

学級数：18 生徒数：658 生物工学科・園芸流通科・環境開発科・食品化学科・生活科学科・特用林産科

## 伊予彩まつりで「お化け屋敷」をつくる

7 月下旬に行われる地元伊予市の伊予彩まつりのイベント「お化け屋敷」。全校生徒に募集をかけ、毎年 50 名近くの生徒が参加し、準備から運営、片付けまでを伊予商工会議所の方と協力して活動をしている。生徒が迷路をつくり、用具を組み立てて仕掛けをつくる。お化け役をすることもある。子どもが本気で驚いてくれることや、異年齢の人と交流ができることが生徒にとっては楽しみのである。

その他のボランティアとして、伊予市トライアスロン、松前町福祉ふれあいフェア、禁煙デーパレード、ユニセフ募金、親子ふれあい事業（食育レストラン、チャレンジ未来のアスリート）、近隣保育所訪問、塩屋海岸・重信川清掃活動など多岐にわたる。ほとんどの事業から依頼が毎年来ているので、生徒の活動がそれなりに評価されていると実感している。



### 生徒の話

ボランティアを通じて、いろいろな人の考え方を知った。自分の知らないことをさらに深めて、広げていきたいと思う。スタンプラリーのときなど、くじを引いて商品を渡すとき、みんなが笑顔だったのがとても嬉しかった。人と関わって、楽しいと感じた。活動をして、自分の価値観が変わった。

将来は、人と関わる仕事につきたいと考えている。



お化け屋敷の組み立ての様子



お化け屋敷の入口付近の様子



ボランティアは自分の価値観や視野を広げるために必要だと思うが、無理やりの強制参加や調査書の点数のための参加は必要ない考える。

すべてのボランティア活動に教員は引率できない。管理責任は誰がするのかをはっきりさせることが必要であることと同時に、参加する生徒に責任を持たせる（仕事として意識させる）ことが大切だと思う。



# 愛媛県立伊予高等学校

〒791-3102

愛媛県伊予郡松前町北黒田 119 番地 2

TEL 089-984-9311

FAX 089-985-0622

昭和 58 年 開校式並びに第 1 回入学式挙行

「意欲的に学習し、授業中には積極的に発言をする、気持ちのよい挨拶をする、交通マナーを守り時間に余裕をもって登校、学校行事に協力して取り組む、ボランティア活動に積極的に取り組む」という生徒会からの生徒宣言を受けて、今年度は、「夢をかなえる、今日の第一歩」と題して、「あなたとの心のふれあいをめざし、あなたと共に凜とした生き方をめざし、あなたの夢の実現のため全力を尽くす」ことを教育目標とする。

学級数：24 生徒数：941 普通科

## 松前の町をきれいにする

「郷土を美しくする清掃」の一環として松前町と連携して、7月の平日午後には1年生は国道沿いにて除草、ゴミ拾い、2,3年生は校内で除草作業をする。

学校北側水路周辺を環境美化委員と生徒会、生徒及び教職員の有志が清掃活動を始め毎年5月に実施している。

家庭クラブからの発信は、校内の朝清掃を全校生徒で実施しようというもの。日程を決めて分担して行っている。



カーテン洗濯

家庭クラブの活動は、校内のカーテン洗濯にもおよぶ。教室にはいつもきれいなカーテンが泳ぐことになる。他には、地域のひまわりの苗植え、北黒田の海岸清掃、親子防災キャンプの手伝い、保育所ボランティア、高齢者施設の清掃、楽器クラブの活動に参加等たくさんある。

生徒は、活動を通じて、少しでも地域貢献をしたいと思い、「また来てね」「ありがとう」の言葉に喜び、福祉の仕事に興味をもつようである。

現在は、「自らやってみよう」という気持ちを持った生徒が少なくなってきたように思える。今後は、そういう気持ちを育てる教育が必要だと考える。



小富士保育園 ボランティア



北黒田海岸清掃 (H24 年度)



# 愛媛県立大洲高等学校

〒795-8502

愛媛県大洲市大洲 737 番地

TEL 0893-24-4115

FAX 0893-23-4708

明治 11 年 共済中学校開校

明治 37 年 愛媛県立大洲中学校と改称

昭和 24 年 学制改革に伴い、愛媛県立大洲高等学校となる。

国家社会の有為な形成者としての資質を養うために知性を高め、心身ともに健康で豊かな人間性と創造力を備えた人間を育成する。また、生徒の興味・関心・能力に応じた進路実現を目指し、社会の変化に主体的に対応し、貢献できる人材を育成することを教育方針とする。

学級数：15 生徒数：593 普通科・商業科

## 「ほっとかれへん」という気持ちを育てる

VYS 部はボランティア団体からの依頼で、大洲児童館、喜多児童館、徳森児童館の合同事業である、夏休み「お楽しみ子ども会」のお手伝いをしている。担当は、綿菓子、かき氷、ゲーム、工作等である。その他には、地域の奉仕活動、自主的な清掃活動などを行っている。生徒は、子どもとのふれあいの中で、自分の幼少のころを思い出し、社会の中で、自分たちの生き方なり方を、どのように社会貢献に結び付けていくかを少しずつではあるが、肌感覚として身につけている。

また、PTA の保護者の方々と生徒保健委員が校内に花のある環境づくりを定期的に行っている。自分たちの学校をきれいにする美化意識が育ち、気持ちよく生活することの快適さを知ったと思う。

一見無駄だと思えることに、実は大切なものが隠されている。自分の得にならないことを一生懸命することで、大切なものが育つ。



偶然、大洲児童館の館長さんが通りかかった道路で、VYS 部員が自主的にゴミを拾い掃除をしていたと、学校に連絡が入った。自分たちで気づき、「やろう」という気持ちになることが貴重だと考えている。

ボランティアを日本語に直すと「ほっとかれん」と訳した人がいる。「自分さえよければいい」という社会の中で、「美しい心」をもう一度見つめなおしたい。個人の小さな「ほっとかれん」気持ちを大きく育てて行ってほしい。

今の高校生は、勉強とスポーツ、部活に塾と大変忙しい。その中で、「できることをできるときに、無理をしないで長続きするように」ということを心がけていきたい。

